

令和5(2023)年度 授業評価アンケートに対する自己点検・評価

教員氏名	授業評価アンケートに対する自己点検・評価	「自由記述欄」の内容に対する自己点検・評価
伊藤雅一	<p>授業では、質問3「主体的に学習したか」、これに関連する質問7「質問や意見を述べられるようにしたか」、質問10「興味や関心の持てるものであったか」、質問12「社会に出て役に立つ内容が含まれていたか」を重視している。いずれの評価項目もほぼすべての学生が5段階評価の5または4と評価し、全体平均と比べても0.5ポイント程度高くなっていた。授業では、学生にとって身近な課題を取り上げ、定期的に学生の理解を確認することで、学生が主体的に学習に取り組めるよう配慮しており、今後の授業改善に向けても、主体的な学習への配慮の継続と改善に取り組むことで学習効果を高めていきたいと考えている。</p>	<p>授業で実施したレポート課題については、その都度、学生にフィードバックをしているが、「レポート全体のフィードバックはあったが、個々のレポートのフィードバックも必要。」とのコメントがあった。授業では評価基準を説明したうえで、この評価基準を満たす全てのレポートを紹介しているが、このコメントは、評価基準を満たさなかったレポートは紹介していないことに対するものである。レポートの評価基準を説明することで、何か足りないのかを理解できるようにしているが、より詳しい説明が必要な学生には、希望に応じて、個別に説明する機会を設けたいと考えている。また、「この授業を受けて環境に興味を持てた。面白かった。」とのコメントも寄せられた。授業では、定期的に授業に対する意見等を徴取しているが、その中で同様の意見が多く寄せられている。より多くの学生が授業に関心、興味を持つことができるよう、引き続き配慮していきたいと考えている。</p>
伊藤利明	<p>「教育原理」「教育方法論(ICT活用の理論と方法を含む)」「社会科教育法Ⅰ」「社会科・公民科教育法Ⅰ」「道徳と宗教」社会科教育法Ⅱ」「社会科・公民科教育法Ⅱ」「道徳教育の理論と実践」「倫理学」「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」の授業評価アンケート結果は、おおむね良好であった。</p> <p>「道徳と宗教」と「倫理学」では出席率がだんだん悪くなり、欠席過多となる学生が2割程度いる。授業評価アンケートを実施しても、受講人数と比べて、提出する学生の人数が少ないように思われる。</p>	<p>「教育原理」「教育方法論(ICT活用の理論と方法を含む)」「社会科教育法Ⅰ」「社会科教育法Ⅱ」「社会科・公民科教育法Ⅰ」「道徳教育の理論と実践」「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」の授業評価アンケートでは、自由記述がなかった。</p> <p>「道徳と宗教」では、アルバイトのため、課題レポートの締め切りを延ばしてほしいとの要望があった。課題レポートの締め切りについては、問い合わせがあれば、期限を過ぎても提出できることを伝えている。締め切りを過ぎた場合、学生からの申し出があれば、提出してよいことを伝えている。</p> <p>「社会科・公民科教育法Ⅱ」では、「寝るな」という指摘がひとりの学生からあったが、授業の最中に寝た記憶はない。模擬授業を中心にした授業なので、常にメモを取っており、実施後は良かった点や改善点についてコメントを言うようにしている。寝ている時間はないと言える。</p> <p>「倫理学」では、穴埋めは良いが、スライドが速いとの指摘があった。次年度は、スライドを見せる時間を長くすることを考える。</p>
伊藤理香	<p>座学の授業では「パワーポイントなどを使ってわかりやすく情報・資料を掲示しましたか」の項目が、専門的な知識を学習する授業において高い評価であった。また、一般的に、「先生は、熱意をもって授業を行っている」「先生は、学生が質問や意見を述べられるように配慮しましたか」「あなたは授業の内容を理解するため主体的に学習しましたか」の項目が、他の評価項目と比較すると少し低い評価であった。このことから、学生が主体的な学習を行うための工夫を増やしていきたい。</p>	<p>座学の授業で「わかりやすい講義でした。」「大変素晴らしい授業でした」などの評価であった。全体的には高い評価であるが、学生の理解度を確認しながら、段階的な学習を行っていく。</p>

岡村聖	<p>「先生は、わかりやすい言葉を使ったりゆっくり話したりするなど、聞き取りやすいように話をしましたか」「先生は、板書やOHC・パワーポイントなどを使ってわかりやすく情報・資料を提示しましたか」「先生は、熱意を持って授業に取り組んでいましたか」の項目については、全体より評価が高かったため、継続していきたい。一方、「先生は、学生が質問や意見を述べられるように配慮しましたか」「あなたがこれから社会に出るにあたって、あるいは専門の授業を受講するにあたって、この授業には何らかの形で役に立つ内容が多く含まれていましたか」の項目については、全体より評価が低かったため、次年度は改善していきたい。</p>	<p>「今度は戦車の跳弾の仕組みを事細かく教えて欲しい」「乱流はなぜ起こりますか。また、どんな時に起こりやすいですか」「面白い」といった、ポジティブあるいは授業内容を深堀したい内容のコメントがあったが、コメント数は少なかったため、コメントが増えるように改善していきたい。一方、「先生がずっと楽しげに喋ってるだけでこっちは受ける気も出ません」という受講満足度が低コメントがあったため、ポジティブな要素が増えるように授業内容を見直していきたい。</p>
河村郁江	<p>基本的に良い評価をもらうことができた。しかし、バーチャルリアリティ、WEB構成論の授業で「学生が質問や意見を述べられるように配慮したか」と言う設問で一部評価が低かったため、次回からは、学生が質問できるように授業内やteamsの中で配慮する。</p>	<p>3DCG演習：課題の提出物があってもいいと思いましたが、大きな課題の提出を3回設定しているため、意図がわからないが、課題の提出の評価についてもっと明確な説明を付ける。 メディア・コミュニケーション論：映像の音量が大きいとフィードバックを送ったのですが、改善されませんでした。> 気をつけていたつもりだったが、次年度からは、音量の大きさには注意を払う。 バーチャルリアリティ：進みが遅い人や欠席している人に合わせる必要がないと思う。そのせいで制作の時間が減り、満足いく課題が制作できないのは遺憾だ。> 制作の進め方になんかなり個人差があり、遅い学生に合わせがちであった。そのため。次年度からは早い学生と遅い学生の両方に対応することを心がける。</p>
宮坂まみ	<p>回答の精度を下げるものとして知られる中間選択(例：5段階中全部3をつける)が多く見られた。中間選択をしていない回答に基づくと、全授業に対する授業評価の集計結果と類似して、「教員は熱意を持って取り組んでいたか」「授業はシラバスの内容に沿ったものであったか」「授業には役に立つ内容が多く含まれていたか」「授業を受けて満足したか」といった内容については4～5点がつけられたいた。 一方、特に1年生から受講可能な科目での「教員は質問や意見を述べられるように配慮したか」に対する点数がやや低かった。上級生がいる中で質問をすることやMicrosoftFormsを介した質問・コメントが難しかった可能性が考えられ、次年度意向改善が必要であると考え。</p>	<p>自由記述の記載は極めて少なかった。 ポジティブな記述は、「難しいところもあったが丁寧に説明していただいたため分かりやすかった」「プリントを毎回配り、パワーポイントの内容をメモしやすいようにしてくれるため、講義が受けやすい」などであった。今後もより丁寧な指導を心掛けていきたい。 ネガティブな記述は、授業中にスマホで遊んでいる生徒についての指摘であった。ICT化に伴い、PCやスマートフォンを活用する講義を行うことが一般的になっていく中で、これらのツールで遊んでいる学生の検出が今後より一層課題となってくる。</p>
高木弘恵	<p>多くの学生が満足しており、これからの学生の人生にヒントとなるといいと改めて思った。大変忙しい中、講義に足を運んで下さる講師にも深く感謝したい。時代の先を見据えて活動している講師にこれからも依頼しつつ、学生たちには社会性やビジネスマナーを習得できるように今後も努力していきたい。</p>	<p>レポートが苦痛だという意見が1名いたが、レポートを書くことの意義を次年度はしっかり伝えていきたいと思う。</p>

高木清秀	<p>学生個々人の評価になったので、読み取りにくい。履修者の1/3の回答ですので全体が見えない。例年、いつものような評価だと思う。社会に出て役立つの評価が多いので、より分かりやすく授業に取り組みたい。</p>	自由記述がありませんでした
今永典秀	<p>想定していた内容での評価ではあった。一方で、一部で改善を期待する内容もあったことから、真摯に受け止めて改善できる部分に関しては改善したいと思う。具体的には、学生にもう少しやる気が出てもらえるような仕組みを取り入れることなどを試みたいと思う。</p>	自由記述に特に改善に関連する内容の記載はありませんでした。
児玉美由紀	<p>「観光ビジネス論」を担当したが、「先生は板書、OHP、パワーポイントなどを使ってわかりやすく情報・資料を提示したか」においては、平均4.4のところ、4.6、「授業を受けて満足だったか」においては平均4.1のところ、4.3の評価だった。パワーポイントを活用し、学生が積極的に授業に参加しプレゼンを行う機会が多くあったことが、良い評価に繋がったと考える。</p>	<p>「もう少し補足説明があった方が良かった」と感じる学生もいたため、次年度はこれまで以上に一人一人の学生の理解度を確認しながら授業を進めていきたい。</p>
松林康博	<p>欠席回数が多い学生ほど、評価が下がる傾向があり、それは二つの場合があるように思う。一つは講義が合わない、つまらない等。もう一つは講義を寝坊やサボって講義がわからなくなってしまって、評価が低い場合。データがPDFで渡されるので、エクセルで貰い受けたい。そうしたら、自分でどういう場合に学生の評価が低い傾向があるのかより詳細に把握できる。</p>	<p>全体的にコメントが少ないので、学生もアンケートを回答するのに疲れていて、段々と適当になってくる部分もあるのかなと思う。それでもコメントが来るのは、何かしら強く思うところがあるのだと思います。</p>
森下純弘	<p>全体的に質問1の評価が低ければ、質問2の評価も低いように思う。質問3, 4, 5の評価が7, 10に同等以上の評価になるように更に精進しなければならない。また、私自身の来年度の課題としては質問4, 5の評価である。どれだけ分かりやすい資料・情報でインプットしても、学生が質問や意見をアウトプットする場を設定しなければならないと感じている。</p>	特筆する自由記述はありませんでした

菅井径世	<p>本年も、評価点は担当する科目毎、年度毎に、変動していた。昨年同様、学内全体で同様に変動が大きい傾向があるとのことであるが、個別のデータからも、評価点の平均値に対するばらつきが大きい傾向があることが分かった。履修生の数に対してアンケート数が少ないこと、また、回答のあったアンケートにおける評価項目においてどの質問に対しても同じ評価結果を選択している回答が多いことから変動は誤差の範囲であると考えられる。また、徐々に変化しているさらいのある点として、受講の考え方が多様になっている可能性がある。大学卒業後の将来を見据えて受講する場合、新しい知識やスキルを身に付けることを目標とする場合、学ぶこと自身が楽しい場合、単に単位取得のみを目的とする場合など多様な目的があり、個別の学生にもこれらのうち一つの実が目標という場合より、複数を目的としたり別の目標を持っていたりする場合が考えられる。学生の希望に対し、教員が自らの考え方を押し付けることなく、妥当な目標設定をしている受講生に対しては、その意図を組むことに目を向けたい。</p>	<p>「特に要望はありません」といったコメントを含め、回答数が少ないので、アンケートによらず、学生に声をかけて希望を聞くようにしている。卒業生から「今になって、あの時のお話の内容が分かるようになりました」との声を聴くと、重要なポイントとして継続的に講義していくべき内容が分かる。「面白い話が多くて好き」というコメントと「話が難しく、よくわからなかった」の両方が同一科目に記されており進め方について検討を継続しなければならない。「とても分かりやすかった」といったコメントがあるので、内容と進め方について変更すべきでない点もある。今後も、これらも参考にして進めていく予定である。重要な情報についてはノートを取れたか否かを確認しながら講義を進めているが、前もって講義内容をTeamsへアップロードし案内もしている。資料があることは多くの履修生が周知していたが、漏れのないように周知を図ることで対応する予定である。その他の要望には、次年度、時間を取って対応する予定である。</p>
瀬川久志	<p>例年とほぼ同じ評価内容でした。全体の傾向とも似た結果でした。すべての授業でteamsのホームページを使っており、毎回の簡易な提出物は、評価点を含めてフィードバックしており、効果が出ていると推察される。</p>	<p>自由記述には「板書方法の改善」など参考になる意見が散見される。teamsやチャット、メールなどでも、授業に対する要望は随時受けており、授業の改善に役立っています。</p>
星野雪子	<p>アンケート結果から、一定の学習効果を読み取ることができました。「興味や関心のもてる」「役に立つ内容」もポイントが高く、課題に着実に取り組む学習態度の受講生は、学習目標を概ね達成できていたと読み取ることができました。授業内容を確実に理解するために、説明を繰返して理解を促進する、一斉講義に加えて個別指導のための質問タイムを確保する、全課題の提出を義務付けることによる学習効果も狙い通りの成果をあげています。</p>	<p>以下の記述により、狙い通りの授業成果になっていたことがわかりました。 『基本情報や応用情報など資格試験の勉強を最後に解く形になっていた部分が特に良かった。この問題を自分の頭で考えて理解するという指標になっていた』 『講義自体の内容がとてもわかりやすく、「何を目標とすれば良いのか、どの作業ができるようになれば良いのか」が明確で学びやすい講義』『既に就職済みの友人に学んだことを報告すると仕事におけるどの業務に通ずる作業なのかより明確なエピソードとして返ってきて、「将来私もここで学んだことを活かす機会が来るのかもしれない」という思いが講義に対するより大きなモチベーションとなりました。』</p>

赤松 章	<p>春学期の科目は、平均点が3.4と、全体の平均点4程度より低い評価となっている。医療統計、医療統計・演習、統計学基礎と3つの統計系の科目であり、分かり易い説明を心がけたつもりだったが、難しいと感じた生徒が多かったようだ。今後も引き続き数式を使わず、平易な言葉を使用して学生にとって数式・統計アレルギーがでないような工夫に努める。医療統計、統計学基礎、情報入門は、講義形式の授業であるが、講義内容が難しいと感じた生徒が多かったようだ。今後は講義形式でも、最初の30分単位で講義・手を動かす演習、討論やグループワークを組み合わせて、飽きない授業になるように改善する。</p> <p>一方、秋学期の科目は、平均点が4.1となり、全体平均と同等の評価となっている。春学期のアンケート結果を踏まえて、グループワークを取り入れるなど授業方法の改善に努めたことがよかったと思う。</p> <p>今後も引き続き授業内容および授業方法を工夫、改善してまいります。</p>	<p>春学期は、「もう少し分かり易い言葉を使ってほしい」という要望があった。秋学期はできるだけ平易な言葉を使用することと、できるだけ解説を加えるようにした。</p> <p>「課題の出しすぎ」というコメントについては、それだけ皆さんによく頑張って学んでいただけただ証だと、誉め言葉と捉えたい。今後も分かり易い授業になるように改善を続けていきます。</p>
川崎成一	<p>全体的には良好であったと思われるが、より一層、学生に寄り添った「愛情教育」を心掛けたい。</p>	<p>資料配布の要望があることから、適切に対応したい。(これまで、授業終了後に、すべての資料をMicrosoft Teamsに掲載していた)</p>
巢 宇燕	<p>2023年度の春学期と秋学期を合わせて学部授業科目は6コマ担当しており、いずれにしても評価項目の中の9割の評価ポイントは4点以上あり、全学の平均を上回っている。これからは、どの授業にしても学生から興味を持ってもらえるように、よりアクティブ・ラーニングに近い方式で授業を展開していきたい。</p>	<p>評価されているコメントは以下である：①先生はとても責任感があつて、大好きで、わかりやすい授業でした。②今後もこの講義内容でよいと思います。③とても面白い授業で、先生の授業はとても生き生きしていて、辛抱強く質問に答えることができます。④前期のプログラミング基礎の応用についてをしっかりと学習する事ができました。⑤ すごくよかったです。しかし、以下のような意見もあつた：①用語が難しく覚えきれませんでした。②もう少しゆっくりやってほしいです。③内容が難しいだけに、講義の資料を配るべきだと感じた。よいところを伸ばしていき、不足点を改善し、今後さらに学生のやる気を引き出せる工夫をする授業の取り組みをしていきたい。</p>
富田裕平	<p>簿記関連科目が例年よりも高い評価を受けることができたことはよかった点である。今後、点数がさらに高まるように授業内容の向上を図りたい。</p>	<p>自由記述欄の記載がほとんどないため、今後は何かしら記載してもらえるような内容に改善したい。</p>

<p>福田ムツル</p>	<p>今年度の学生による授業評価アンケートは昨年と同様、回答者が極端に少なかったです。その理由として第一に全ての科目に対して授業評価アンケートを実施しているため、終わりに近づくにつれて学生の関心度が減っていき、回答意欲がなくなっただと考えられます。第二にアンケートはオンラインでかつ匿名で実施されるため、回答しなくても問題ないと判断された可能性があります。今回の学生による授業評価アンケートの結果は、平均的に見ると、前回に比べて全ての科目に関して幾分改善が見られました。一つは受講者数が少ない分学生に対してきめ細やかなサポートが出来た点だと思います。もう一つは前年度の学生からの改善要求に対する工夫だと思います。三つ目は課題・宿題をできるだけ学生に分かりやすく、答えやすい内容にするよう心がけたことだと思います。優しい問題と難しい問題のバランスを考えた課題を出すようにも心掛けました。改善があまり見られていない科目もあったが、資格に関わる科目でもあり、学生には最低限のスキルを確実に身につけてもらうために、多めの課題や練習問題を出しており、欠席した学生に関しても同様の課題を課していますので、「厳しすぎる」と不満を言う学生もいました。その科目の後編から履修者が半分減り、極端に少なくなることからその状況が伺えます。前年度と同様、課題や練習問題を少なくすると基礎力が形成されないし、多めにすると受講者が減るというジレンマに遭っています。</p>	<p>自由記述欄には3科目全部合わせると具体的に回答したのは6人しかなく、その2つが否定的な意見でした。「モニターの色的に同系色を使ったりなどほぼ見えない」、「講義内で使用している資料をTEAMSのファイルに共有して欲しい」などでした。前者に関しては前年度も同じ旨の改善要求があり、工夫はしていたが不十分であったようです。更なる改善に努めます。後者の場合は学生の要求通りに改善します。自由記述欄への回答者が少ないことに関しては、例年と同じですが、学生の評価アンケートへの関心の低さを示すのか、それとも教員(私)の努力不足なのかが定かではありませんが、教員が努力すればよい方向に向かうことには間違いないので、次年度からはこれまでの経験を生かしながら改善に努力したいと思います。</p>
<p>傍嶋則之</p>	<p>1回の授業における講義内容が多く、学生が理解できないことが有り、また、毎回、2度に渡り販売士3級の過去問題をさせてはいるが、資格取得の重要性を理解できない学生が問題をしないケースが見られたので授業当初のオリエンテーションで、理解を促し、授業内容を精査する。</p>	<p>上記の関わって、講義内容のボリュームが多いに為、早口になりこなすだけの授業になっていた回も有ったので、ボリュームを精査してゆっくりと話し、理解する時間を90分の中で確保していく。</p>
<p>本田 真</p>	<p>概ね4, 5の評価であったが、一部で2, 3の評価をする学生がいた。講義では必ずグループワークやグループディスカッションの時間を取ったが、このような学習形態を嫌がる学生も存在する。協働学習に不安や緊張を感じる学生がいることを念頭においた講義をおこなっていきたい。具体的には、心理的安全を感じられるように構成を強めに設定したり、あらかじめ自分の意見をまとめる時間を取るなど工夫したい。</p>	<p>グループワークやグループディスカッションを「学びになる」「楽しい」と評価する学生が多かったので、今後も継続していきたい。しかし、不安・緊張を感じる生徒への配慮やマンネリ化することへの工夫も考えていきたい。教室が小さいという不満を感じた学生がいたので、教務課と相談して受講人数に応じた教室で講義をおこなえるようにしたい。また、テキストの使用が少なかったという不満も一部あったので、テキストを指定した場合はテキストを講義の中で扱ったり、予習・復習で使用できるように工夫したい。</p>

木川智美	<p>令和5年度全体集計で4.1の評価であった。「先生は、遅刻・早退せず、90分間の授業を行いましたか」「先生は、熱意を持って授業に取り組んでいましたか」への回答が4.4と高評価であったので、今後もさらに努力を続けていきたいと思ひます。一方、「あなたは授業の内容を理解するため主体的に(自分自身で)学習しましたか」への回答がやや低い評価であったので、今後は予習・復習を促すような工夫・改善をしていきたいと思ひます。</p>	<p>「授業後の感想シートでの質問を次の授業で答えてくれることがよかったです。」「すごく分かりやすく、プリントもパワーポイントも見やすく良かったです。」「授業外の時間に研究室に伺ってレポートの質問をした時、丁寧に対応して下さいました。」「授業はとても難しく所々分からないこともありましたが、木川先生がとても優しく丁寧に教えて下さったので、とてもやりやすかったです。」などの記述があった。今後もわかりやすい授業、学生に対して丁寧なふるまいを心がけていきたいと思ひます。</p>
矢野昌彦	<p>全体の中で特に、以下の3項目の評価が高く、テーマ・キーワードの説明、深堀、事例の説明に加えて、毎回のレポート提出・添削でのフィードバックでPDCAを回したことが満足度向上につながった可能性があると評価しています。</p> <p>①授業内容はシラバスの内容に沿ったものでしたか</p> <p>②あなたがこれから社会に出るにあたって、あるいは専門の授業を受講するにあたって、この授業には何らかの形で役に立つ内容が多く含まれていましたか</p> <p>③あなたは、この授業を受けて満足しましたか</p>	<p>授業が分かりやすい。優しく教えている。頭にすんわりはいい。授業の内容が深い。など伝わりやすさと難しいキーワードを自分で考える工夫がよかったですと感じている。SDGsエバンジェリストへの育成も成果としてよかったですと感じている。教科書の使用頻度が少ないコメントがあったが、教科書→独自のパウポ資料のつながりを説明して改善していきたい。</p>